

# おなかのなかから クラシック

ぶんとが贈るマタニティプログラム

演奏曲 モーツアルト：ロンドニ長調 K.184

GReeeN：星影のエール（NHK連続テレビ小説『エール』主題歌）ほか

このマタニティプログラムは、マタニティの方とおなかの赤ちゃんに、音楽等を楽しみながらゆったりとした時間をお過ごしいただくために、お子様のご同伴はご遠慮いただいております。マタニティの方と、大人の方2名様のみご同伴いただけますので、趣旨等ご理解くださいますようよろしくお願いします。



## 小林 志穂（フルート）



山形県立山形北高等学校音楽科、武蔵野音楽大学卒業。

桐朋学園大学研究科修了。

彩の国新進音楽家オーディションに合格し県のアーティストとして彩の国さいたま芸術劇場にてリサイタルを行う。

第12回日本フルートコンペティションコンクール第3位、第5回びわ湖国際フルートコンクール第3位入賞。

地元山形県においても2度のリサイタルをし好評を博す。

2001年大阪交響楽団入団。2016年休団しカナダに渡りモントリオール交響楽団首席フルート奏者 テイモシー・ハッチンス氏のもと1年間研鑽を積み2017年復帰し現在に至る。

オーケストラ首席奏者としての演奏活動の他、ソロや室内楽、後進の指導、また身体理論の研究と指導も精力的に行っている。

フルートをこれまでに足達祥治、高久進、野口龍、ティモシー・ハッチンス、室内楽を一戸敦、白尾彰の各氏に師事。

関西のオーケストラのフルート奏者で構成されたフルートアンサンブル・ギモナス メンバー、レッシュ4スタンス理論公式マスター級トレーナー。

## 大西真衣（ピアノ）



大阪府出身。

4歳よりエレクトーン、6歳よりピアノを始める。相愛大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。同大学卒業演奏会、新人演奏会出演。

在学中、田口奨学金を一年間授与される。ポーランドクラクフ室内管弦楽団とショパン作曲ピアノ協奏曲第1番を共演。

2012年中之島国際音楽祭にて、大阪4大オーケストラのコントラバス奏者と共に演。

ショパン国際ピアノコンクールin Asia、KOBE国際音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール等さまざまなコンクールで入賞。

第16回長江杯国際音楽コンクール 優秀伴奏者賞。B.カバラ、K.ギエルジョド、練木繁夫、上田晴子の各氏によるマスタークラス受講。

これまで坂本諭加子、福井亜貴子、柴田翠、長谷川美穂子の各氏に師事。

近年、室内楽に積極的に取り組んでおり、2017年にPiano Duo Stella(連弾・2台ピアノ)、2018年にTrio Iris(ピアノ三重奏)を結成し、定期的に演奏会を行う。ベル音楽サロン、玉造音楽教室ピアノ講師。

10年後には地域のクラシック人口1%を目指そうプロジェクト

## 『クラシックのいろは』 <http://www.bunto.com>

「クラシックのいろは」とは、初心者でも親しみやすいクラシック音楽を継続的に提供し、10年後には地域人口の1%が常にクラシックコンサートに足を運んでくれることを目的に、平成27年度から取り組んでいる、ぶんとの中長期的なプロジェクトです。みなさまも、ぜひ、お気軽にご参加ください。

10年後には地域のクラシック

Classicの  
いろ  
は  
2020

人口1%を目指すプロジェクト